

総合政策部交通政策課

1 地方バス路線関係

(1) 生活バス路線を維持するため、生活路線維持費補助金の支出を行った。

ア ノ丸自動車株式会社

区 分			路線数	補助額 (単位 ; 円)
生活路線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対象路線 (広域幹線路線)	7	49,159,085
		県補助対象路線 (広域路線)	6	13,856,754
		単市補助対象路線 (市内完結路線)	9	41,827,676
合 計			22	104,843,515

イ 日本交通株式会社

区 分			路線数	補助額 (単位 ; 円)
生活路線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対象路線 (広域幹線路線)	1	1,020,129
		県補助対象路線 (広域路線)	9	52,424,239
		単市補助対象路線 (市内完結路線)	10	37,463,349
合 計			20	90,907,717

(2) 米子市循環バス (愛称「だんだんバス」) だんだんコース運行

路線バス活性化策の一助として、米子駅を発着し、大学病院など市内中心部を循環するコミュニティバスの運行を行った。

ア ルート 市内中心部 (米子駅→大学病院→ホープタウン前→天満屋前→ふれあいの里→高島屋前→米子駅) での一方向周りの循環運行

イ 運行回数 平日21便、土・日・祝日19便 (始発8時～終発18時。30分間隔)

ウ 使用車両 ノンステップバス (34人乗り) 2台

エ 停留所 32か所 (市が設置)

オ 料金 中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料

定期券 中学生以上1か月4,500円 / 3か月13,500円

小学生1か月3,000円 / 3か月9,000円

障がい者等1か月1,500円 / 3か月4,500円

回数券 150円券11枚綴り1,500円 100円券11枚綴り1,000円

50円券11枚綴り500円

カ 料金割引 鳥取県内の路線バス定期券 (日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社発行分) を提示された方を対象に中学生以上1回50円割引

キ 運行方法 市とバス事業者が協定を結び、運行するバス事業者に対し、運行経費から運賃収入を控除した額 (20,629,711円) を市が補填した。

ク 利用者数 年間乗車人員88,738人

一日平均244.5人、一便平均12.2人 (幼児を含む。)

(3) 米子市循環バス（愛称「だんだんバス」）歴史コース・まちなかコースの実証運行

路線バス活性化策の一助として、米子駅を発着し、大学病院など市内中心部を循環するコミュニティバスの実証運行（令和3年12月より運行中）を実施した。

令和4年12月からは、それまでの実証運行で出てきた諸課題に対応するため、一部ルートの見直し及び使用車両を小型バスへ変更を行った。

ア ル ー ト 令和4年11月まで

歴史コース（1周30分）とまちなかコース（1周20分）を交互に運行。

【歴史コース】米子駅→米子城前→大学病院→寺町通り→高島屋前→米子駅

【まちなかコース】米子駅→西部総合事務所前→ふれあいの里→高島屋前→米子駅

令和4年12月から

歴史コース（1周26分）とまちなかコース（1周24分）を交互に運行。

【歴史コース】米子駅→米子城前→大学病院→まちなか観光案内所入口→寺町通り→高島屋→米子駅

【まちなかコース】米子駅→西部総合事務所前→高島屋前→大学病院→米子駅

イ 運行回数 平日19便、土・日・祝日17便（始発8時45分～終発17時45分）

ウ 使用車両 小型バス1台（令和4年11月までは中型バス1台）

エ 停留所 21か所（令和4年11月までは20か所）

オ 料 金 中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料

定期券 中学生以上1か月4,500円／3か月13,500円

小学生1か月3,000円／3か月9,000円

障がい者等1か月1,500円／3か月4,500円

回数券 150円券11枚綴り1,500円 100円券11枚綴り1,000円

50円券11枚綴り500円

カ 料金割引 鳥取県内の路線バス定期券（日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社発行分）を提示された方を対象に中学生以上1回50円割引

キ 運行方法 市とバス事業者が協定を結び、運行経費から運賃収入を控除した額（12,459,296円）を市が負担し、運行した。

ク 利用者数 年間乗車人員11,999人

一日平均33.1人、一便平均1.8人（幼児を含む。）

(4) 米子市淀江町巡回バス（愛称「どんぐりコロコロ」）運行

路線バスの廃止代替として、米子市淀江町全域を巡回するコミュニティバスの運行を行った。また、令和4年4月より停留所の新設（ビラ大山、岡成、泉）及び名称変更（「ビラ大山」を「ビラ大山北口」に変更）を行った。

ア ル ー ト 便ごとにルートが異なり、淀江駅、白鳳高校、マリ医院、米子東病院、イオンモール日吉津等を巡回（1便当たりの所要時間 17分～1時間1分）

イ 運行回数 平日・土曜10便、日曜・祝日運休（始発7時50分～終発16時00分）

ウ 使用車両 マイクロバス（29人乗り）1台、マイクロバス（23人乗り）1台

エ 停留所 56か所（市が設置）

オ 料 金 中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料

定期券 中学生以上1か月4,500円 小学生1か月3,000円

	障がい者等1か月1,500円
回数券	150円券11枚綴り1,500円 100円券11枚綴り1,000円 50円券11枚綴り500円
カ 料金割引	鳥取県内の路線バス定期券（日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社発行分）を提示された方を対象に中学生以上1回50円割引
キ 運行方法	市が市町村運営有償運送にて、バス事業者に運行を委託し、運行経費（9,940,030円）を委託料として支払った。
ク 利用者数	年間乗車人員8,626人 一日平均29.4人、一便平均2.9人（幼児を含む。）
ケ その他	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、淀江小学校に路線バスで通学する児童（1年生から3年生まで）を対象に、米子市淀江町巡回バス条例第9条の規定に基づき、路線バスの定期券を提示することにより、米子市淀江町巡回バスの使用料を免除した。

(5) その他バス路線負担金

米子市内を運行している、安来市広域生活バス「イエローバス」に1,362,000円を運行負担金として支出を行った。

(6) 米子市地域公共交通会議の開催

本市における生活交通に関連する事項について、道路運送法及び地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の規定に基づく米子市地域公共交通会議において検討した。

ア 構成 学識経験者1名、事業者の組織する団体1名、バス事業者2名、鉄道事業者1名、道路管理者1名、住民又は利用者の代表4名、運転手を組織する団体1名、中国運輸局1名、警察1名、県職員1名、市職員2名、その他市長が認める者1名 計17名

イ 開催日 令和4年5月12日、令和4年5月19日（書面審査）、
令和4年10月14日（書面審査）、令和4年12月27日（書面審査）、
令和5年2月7日、令和5年2月20日（書面審査）、令和5年3月23日

(7) 高齢者バス運賃助成事業

高齢者のバス利用を支援するため、高齢者バス定期券「グランド70」の購入費用を助成。

ア 米子市に在住の満70歳以上の方に対し、「グランド70」を半額の13,100円で販売し、定価（26,200円）との差額を助成。

実績件数 436件 交付金額 5,711,600円

イ 運転免許を自主返納してから1年以内の、米子市に在住の満70歳以上の方に対し、「グランド70」を1,000円で販売し、定価（26,200円）との差額を助成。

実績件数 132件

交付金額 3,326,400円

(8) 快適なバス待合環境応援事業

便利で快適なバス待合所の環境整備に自主的に取り組む自治会や民間事業者等に対して、その整備費用の補助を実施した。

実績件数 2件

交付金額 426,000円

(9) 高校生通学費助成事業

遠距離通学をする高校生等の保護者等に対し、1ヶ月あたりの通学費が7,000円を超えた額について

支援を実施した。

実績件数 65件

交付金額 1,399,382円

(10) バス割引乗車券配布事業

バスの利用促進を目的として、米子市文化財団（米子文化ホール、米子市公会堂、米子図書館等）が催すイベントやフレイル対策推進事業等に参加された方に、市内で発着する日ノ丸自動車(株)と日本交通㈱が運行する路線バスの運賃から200円割引をするバス割引乗車券を配布した。新たに、こども用の100円割引券の発行も行った。

配布枚数 1,290枚

使用枚数 おとな520枚 こども5枚

負担金額 104,500円

(11) ノーマイカードー

毎週金曜日をノーマイカードーと設定し、市内事業者を対象に公共交通による通勤を促進するキャンペーンを実施した。参加者に対して、路線バス運賃半額や協賛店舗での割引などの特典を付与した。

○参加実績 延べ40団体、1,270名

2 鉄道関係

- (1) 中国横断新幹線の整備を推進するため、「中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議」を通じて、広報・要望活動を行った。また、新幹線PR看板を米子市公会堂及び淀江支所敷地内に設置した。
- (2) 山陰を縦貫し北陸及び近畿を結ぶ超高速鉄道の建設着手推進を目的とする「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」を通じて要望活動を行った。
- (3) 山陰本線、福知山線の複線電化等について「山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会」を通じて要望活動を行った。
- (4) JR利用に関わる諸問題について、JR西日本米子支社（10月1日から山陰支社）との調整を行った。
- (5) JR淀江駅前公衆便所の維持管理を行った。

3 航空路線関係

- (1) 空港利用者の利便性向上のため、鳥取県、境港市と共同で米子空港駐車場を運営し、駐車場無料化を継続するとともに、JR境線米子空港駅待合所の維持管理を行った。
- (2) 令和4年度の米子空港利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内線が39.8万人ではあったものの、前年度の2倍を超える利用となった。また、国際線は、インバウンドのチャーター便利用があり台湾から96人の利用があった。
- (3) ANAの米子ー羽田便については、新型コロナによる需要減少により、令和2年3月9日から令和4年6月1日まで引き続き減便で運行した。
- (4) 米子空港の利用促進活動について、「米子空港利用促進懇話会」を通じ、各種利用促進活動、PR活動を行った。
 - ア 旅行会社と連携した各種旅行商品の造成及びPR
鳥取県や、中海・宍道湖・大山圏域市長会等と連携し、東京便旅行商品造成及び閑散期対策を実施した。
 - イ 新聞雑誌等によるPR
新聞、雑誌、ラジオ、テレビ番組等により路線や旅行商品についてPRを行った。

4 交通全般

(1) 米子市公共交通機関時刻表「のりものガイド」発行

令和4年4月1日現在の米子市を発着する路線バス、高速バス、飛行機などの時刻をまとめた小冊子を、株式会社サイネックスと共同発行した。

ア 配布開始日 令和4年4月25日

イ 発行部数 7,000部

【主な配布先】米子市転入者、市役所施設内、日本交通米子駅前バスターミナル、一部のバス車内、各地区公民館、米子市観光センター等

(2) Y-M a a S実証実験

ア わいわいパス（米子地域バス乗り放題電子チケット運用実験）

米子広域圏（米子市、安来市、境港市、西伯郡、日野郡）の路線バス、コミュニティバスの利用促進を目的として、スマホによる電子チケット運用の実証実験を前年度に引き続き行った。なお、実証実験は、令和5年3月31日で終了し、令和5年度からは本格実施となる。

(ア) 実施期間

令和4年1月1日から令和5年3月31日まで

(イ) 実施内容

路線バス（日ノ丸自動車、日本交通）とコミュニティバス（米子市だんだんバス・どんぐりコロコロ、安来市イエローバス）が1日乗り放題となる電子チケット（愛称「わいわいパス」）を発売し、運用した。

(ウ) 実施方法

日ノ丸自動車、日本交通、米子市、安来市の4者で米子地域M a a S協議会を設置し、RYDE株式会社のスマートフォンアプリ「RYDE P A S S」上で、発売、運用を行った。

(エ) 電子チケットの種類

広域1日券	おとな1,000円／子ども500円	平日の午前10時までは利用不可
米子市内1日券	おとな600円／子ども300円	

(オ) 購入実績（令和4年1月1日から令和5年3月31日まで）

○件数・人数

	件数	おとな	子ども
合計	595件	657人	40人
広域1日券	268件	300人	16人
米子市内1日券	327件	357人	24人

○購入代表者の年代・性別（単位：人）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	不明	合計
合計	8	102	119	174	154	38		595
男	2	61	49	43	62	29		246
女	2	31	54	32	61	5		185
不明	4	10	16	99	31	4		164

○購入代表者の居住地

鳥取県187人、東京都39人、神奈川県28人、島根県20人、大阪府15人、兵庫県13人、京都府9人、広島県8人、埼玉県8人、岡山県4人、福岡県4人、長崎県4人、奈良県3人、香川県2人、愛知県2人、茨城県2人、北海道2人、その他7人、不明238人、合計595人

(カ) 利用実績（令和4年1月1日から令和5年3月31日まで）

	日ノ丸自動車	日本交通	イエローバス	だんだんバス	どんぐりコロコロ	合計
合計	1,211回	525回	90回	150回		1,976回
広域	612回	277回	89回	43回		1,021回
米子市内	599回	248回	1回	107回		955回

イ バスのゾーン制運賃（距離制運賃）の電子決済実験

スマートフォンの位置情報とQRコードを活用した、バスのゾーン制運賃（距離制運賃）の電子決済実験を実施した。

(ア) 実施期間

令和5年2月1日から令和5年2月28日まで

(イ) 実施内容

路線バス（日ノ丸自動車、日本交通）の米子駅－皆生温泉間とだんだんバスの全コース、全区間を対象に、乗車区間で運賃が変わる運賃体系での電子決済の可能性と実用性を検証した。

(ウ) 実施方法

RYDE株式会社のRYDE PASSアプリ上で、バス乗車時とバス降車時にバス車内のQRコードを読むことで、バス会社・乗車降車の別、QRコード読込時点の位置情報を取得し、乗降バス停を特定。乗車区間に応じた運賃を計算し、精算する仕組みで行った。

(エ) 実績

		米子駅－皆生温泉間	だんだんバス	合計
全体		32件	13件	45件
精算成功		17件	8件	25件
精算失敗	A：スマートフォンの位置情報がオフ	3件	1件	4件
	B：乗車操作NG・降車操作NG	3件	1件	4件
	C：乗車操作OK・降車操作NG	2件	1件	3件
	D：乗車操作NG・降車操作OK	2件	0件	2件
	E：QRコード読込地点がバス停以外	0件	2件	2件
	F：スマートフォンの位置情報異常	5件	0件	5件

45件中25件、乗降バス停を特定し、運賃計算も正しく精算できた。精算失敗のうち、A～Eの失敗は、操作ミスが原因であり、使用法の周知と慣れによって解消できると思われる。Fの失敗は、Android端末のみで発生しており、原因の特定と、システム改良を要望中である。

(3) よなご公共交通ふれあいフェスタの開催

米子市では初めてとなる公共交通とその利用促進をテーマとした「第1回よなご公共交通ふれあいフェスタ」を11月20日（日）に米子コンベンションセンターBIGSHIPで開催し、4,120名が来場した。

5 通信関係

通信業務の円滑な事業推進を図るため、関係諸団体との調整を行った。

6 交通バリアフリー推進協議会関係

「米子市交通バリアフリー基本構想」(平成21年2月策定)で定めた各種事業の推進状況を評価、検討を目的とした「米子市交通バリアフリー推進協議会」を2回開催した。

開催日：令和4年11月16日、令和5年2月15日

7 新型コロナウイルス対策関係

(1) 米子市コロナ禍子育て応援タクシー事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活等が制限されている妊産婦の移動支援として、タクシー券を配付した。

使用枚数 3,270枚

交付金額 1,635,000円

(2) タクシー事業者燃料高騰緊急支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響による運送収入の減少及び燃料価格高騰による運送コストの上昇によって、厳しい経営状況にあるタクシー事業者を支援するため、登録車両1台当たり5万円の支援金を支給した。

申請件数 8件

車両台数 181台

交付金額 9,050,000円